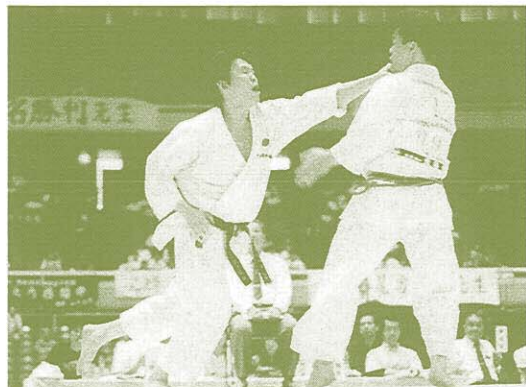


# JKAニュース

# 1999 神無月号

# 社団法人 日本空手協会

発行/社団法人日本空手協会 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-16-2 TEL(03)3476-4611・(03)3476-1431 FAX(03)3476-0322



決勝では小林(左)の突きが冴えた。



準決勝までを快調に勝ち上がった谷山(左)だったが。

## 谷山2年連続総合優勝！ 組手は小林が初の栄冠！ 第42回全国空手道選手権大会

日時●1999年6月12～13日

場所●東京体育館

第42回を迎えた全国大会。昨年の総合優勝者・谷山が形で初優勝を果  
たし完全優勝に挑むが、初の決勝進出の小林がその前に立ちはだかつた！

### ▼谷山、完全優勝へ向けて発進！

むずかしいと言われ続けた総合優勝だが、一昨  
年は泉屋誠三(形優勝、組手準優勝)が、そし  
て昨年は谷山卓也(組手優勝、形3位)が成し  
遂げた。今年も総合優勝は出るのか、そしてここ  
13年間誰も達成していない完全優勝はあるのか、

という点に興味が集まる。

完全優勝に一番近いと目されるのは、谷山だ。今回  
の組手試合でも、安定した強さを見せて順調に勝ち上  
がる。

準決勝の谷山の相手は、半崎靖雄だ。ベテラン半崎  
は実に7年ぶりのベスト4進出。今大会はキレのよい蹴  
りが冴え、準々決勝では鮮やかな右上段蹴りで1本勝  
ちを取めた。

蹴りに活路を見いだそうとする半崎に対し、谷山  
は前足で下段を牽制して間合いをつくらせない。双方  
積極的ながら技有りにならず、時間切れ。延長にも  
つれ込んだ。

蹴りで来る半崎に対し谷山も得意の後ろ蹴りを見  
せるが、間合いが近すぎて極まらない。このまま膠着  
状態が続くかと思われたとき、ノーモーションでスツと  
入つての谷山の中段突きが炸裂。これが1本となり、  
谷山が2年連続の決勝進出を決めた。

準決勝第2試合は、昨年準優勝の野田健と、3位  
の小林邦雄の対戦となった。

積極的に仕掛けていく小林、出合いを狙う野田。  
技有りにならないまま残り30秒となる。ここで野田の  
中段蹴りが決まり、先制。これで気に野田有利かと思  
われたが、ここから小林は怒濤の反撃だ。突っ込ん  
でいって上段突き、中段突きを極め、技有り2つを取  
り返して逆転勝ちとなる。準決勝の壁がなかなか破  
れなかった小林、初の決勝進出だ。

### ▼小林、完勝で初優勝！

先だつて行われた形試合で初優勝を果たし、完全  
優勝、そして歴代タイの4度目の優勝の期待のかかる  
谷山、初優勝を狙う小林。決勝は5分間、2本先取  
りの3本勝負だ。

序盤から積極的に攻めていく小林。先制したのは  
小林だった。突っ込んでの左上段突きが1本となった。  
「最初1本取られて、あせつたというのがある」という  
谷山に対し、「1本取つてどうか作戦がどうかか考





小林（左）VS野田の準決勝は、小林の逆転勝利。

「積極的に攻撃ができた。初めての5分間3本勝負も気になりませんでした」という小林が、初優勝を果たした。

### ▼4度目の頂上決戦も迫が制した！

女子組手は、迫祐美と馬場真由美の対戦となった。決勝では松濤杯を含めて過去4度の対戦があるが、いずれも迫が勝利を収めている。

双方リズムカルに動きながらの間の探り合いが始まった。お互いに手の内は知りつくしているため、共に不用意な動きは見せない。本戦はそのまま時間切れとなり、延長に入る。ここで迫の動きが活発になる。蹴り、連打を見せて、上段突きで先制の技有り。そしてもう一発上段突きを極め、合わせて一本、大会3連覇を、女子の部タイ記録である4度目の優勝（これまでの記録保持者は河野慶子）で飾った。



迫（右）VS馬場の対決は、またも迫が制す。

### ▼形は谷山&藤原が優勝！

男子形は、昨年の全国大会、松濤杯を制した橋口優次が引退を表明したため、一昨年優勝の泉屋誠三、昨年3位の谷山卓也の騎打ちが予想された。7番目の演武者・泉屋は、持ち前のシャープさを生かした拔塞小で得点41・9、この時点でトップに立つ。しかし最後の演武者・谷山は、正確かつ力強い壮鎮でそれを上回る42・1点を獲得、初優勝を果たした。

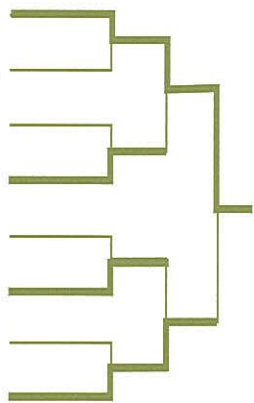
組手で3度の優勝歴を誇る椎名勝利が、巨体から繰り出す圧倒的なパワーの一手で注目されたが、同点による3位決定戦で惜しくも敗れ、入賞を逃した。

女子形は、昨年大ブレイクした藤原海代子が、五十四歩小で得点41・6を上げ、2連覇を達成した。

#### ★個人戦女子組手（59名）

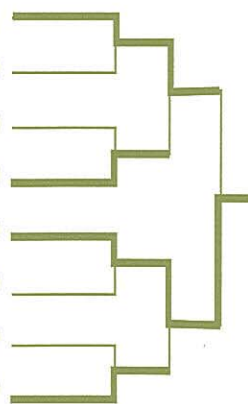
#### ★個人戦男子組手（107名）

- 迫 祐美（指定）
- 佐藤由香里（三多摩）
- 桜木晶子（東海）
- 高田結子（千葉）
- 奥田優子（指定）
- 織田かおり（東京）
- 山崎由紀子（茨城）
- 馬場真由美（指定）



優勝●迫 祐美（指定）

- 谷山卓也（指定）
- 渥美俊之（宮城）
- 浦上修二（東海）
- 半崎靖雄（強化）
- 小林邦雄（指定）
- 今野秀人（東京）
- 中 達也（強化）
- 野田健一（指定）



優勝●小林邦雄（指定）

第42回全国空手道選手権大会  
RESULT

# 印刷ならなんでもご相談下さい

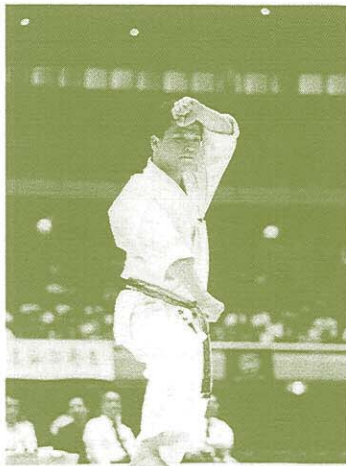
— 情報のコミュニケーションパートナー —



## 株式会社サンワ

〒102-0072 千代田区飯田橋 2-11-8 平和第5ビル  
TEL. 03-3265-1816 FAX. 03-3265-1847





見事な壮鎮で初Vの谷山。

★個人戦男子形 (99名)

- ① 谷山卓也 (指定) 壮鎮 42・1
- ② 泉屋誠三 (指定) 拔塞小 41・9
- ③ 高橋 敏 (指定) 明鏡 41・3
- ④ 椎名勝利 (強化) 十手 41・3
- ⑤ 小林邦雄 (強化) 五十四歩小 41・2
- ⑥ 相原智之 (大阪) 雲手 41・0
- ⑦ 寺島 寿 (指定) 壮鎮 40・9
- ⑧ 中 達也 (指定) 観空小 40・2

★個人戦女子形 (63名)

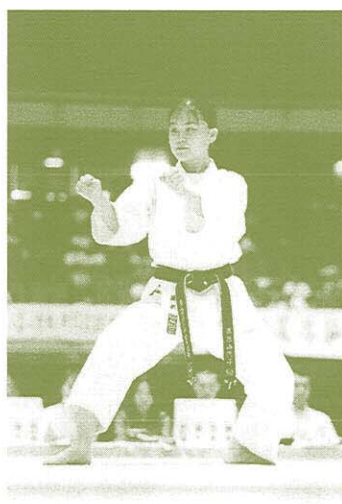
- ① 藤原海代子 (指定) 五十四歩小 41・6
- ② 大島 瞳 (福岡) 五十四歩小 41・5
- ③ 中田輝美 (指定) 五十四歩大 41・5
- ④ 大島 薫 (福岡) 雲手 41・1
- ⑤ 山崎由紀子 (茨城) 雲手 41・0
- ⑥ 平山裕子 (強化) 壮鎮 40・8
- ⑦ 佐藤加奈恵 (宮城) 五十四歩大 40・7
- ⑧ 高田ちなつ (群馬) 五十四歩小 40・3

★一般団体組手 ① 鴨空会 (OB会) ②

- 孝士館 (千葉) ③ 習志野会 (千葉)
- ★一般団体形 ① 青森昌空館 (青森) ② 洪

川空友館 (群馬) ③ 尾鷲支部 (三重)

- ★女子団体組手 ① 国士館大学 ② 福島高校 ③ 大正大学
- ★女子団体形 ① 駒沢大学 ② 大正大学



伸びざかりの藤原、五十四歩小で2連覇。

☆高校生☆

- ★個人戦男子組手 ① 石井達也 (岡山) ② 上條剛 (山梨) ③ 勝間田瞬 (静岡)、岸大祐 (千葉)
- ★個人戦男子形 ① 永木伸児 (岡山) ② 中川玄貴 (山梨) ③ 桑田力 (岡山)
- ★個人戦女子組手 ① 大山幸子 (福島) ② 佐々木志乃 (宮城) ③ 石塚亜雅子 (茨城)、亀山ひとみ (宮城)
- ★個人戦女子形 ① 城田貴樹 (山梨) ② 高瀬佳世 (宮城) ③ 大山幸子 (福島)
- ★団体戦組手 ① 東北工業大学高等学校 (宮城) ② いわき南支部 (福島) ③ 孝士館 (千葉)
- ★団体戦形 ① 岡山山陽高等学校 (岡山) ② 東桂町支部 (山梨) ③ 孝士館 (千葉)

- ③ 青山学院大学
- ★都道府県組手 ① 大阪府 ② 福岡県 ③ 三重県
- ★都道府県形 ① 茨城県 ② 宮城県 ③ 新潟県
- ★大学組手 ① 駒沢大学 ② 大正大学 ③ 国士館大学
- ★大学形 ① 駒沢大学 ② 青山学院大学 ③ 千葉工業大学

第42回全国大会を終えて

首席師範 杉浦初久二

第42回全国大会および少年大会は、それぞれに、二心無事に終了することができた。これもひとえに関係者各位のご尽力の賜物であり、ここに紙上をかりて厚く御礼申し上げる次第である。

今大会を振り返り、今後の課題については、近々の内に、技術審議委員会や師範会において検討し、次回に備えたいと考えているが、技術関係の課題に限って言えば、将来を見越した上で早急に着手しなければならぬことは、次の3点であると思う。

1 人材の育成

選手にしろ、審判にしろ、有能な人材を短時日のうちに育成することは到底不可能なことである。我が協会が世界に冠たることを目標として、組織的に、恒久的な錬成のしくみと実施計画を策定し、早急に実行に移すべきであると思う。

2 形の補正

型の教本を適用して以来、変則的な形のつかい方は、大分影をひそめてきたが、それでもまだ形によっては、本来の意味から逸脱した、好ましくない方が、間々見受けられる。変則的な、かつこよよさだけを強調するようにつかひ方が、一般に流布し広く定着して、あたかも本来のつかい方であるかのような認識や伝統が出来上がつてしまふことは、大変憂慮すべきことであり、早急に是正する必要があると思う。

そのためには、形試合の審判員と指導者の再教育が欠かせない要件である。形のつかい方を修正することには、習い性となったものを改めることであるから、相当の抵抗感が伴い、時間を必要とするかも知れないが、是非とも断行しなければならぬことであり、できるだけ多くの機会を設けて実行したいと考えるものである。

3 組手試合における点取り主義の問題

殊に少年大会の自由組手試合において、点取り主義的な傾向が強く現れてきたように思われる。これは現状では止むをえないことかも知れないが、指導者は、点取り主義による一時的な成功は、国内だけに通用するものであることを自覚し、これに満足することなく、世界に通用する強さを目指して、継続的な鍛錬の重要性を見直して欲しいと思う。

なお、これについては、次号のJKAニュースで述べたいと思っている。

以上今大会をふまえて、もともと気掛かりに思っていることを列記したが、これらの実行に向けて、各位のご協力を切に希望する次第である。

以上





## インタビュー

### ■総合優勝 谷山卓也■

2年連続の総合優勝、形では初優勝です。

「形に力を入れ始めたのは96年の大阪世界大会の団体形のメンバーに選ばれてからですが、念願の優勝ができてうれしいです。しかし組手は落としてしまい、二ついつべんに取るのはむずかしいと思いました」

完全優勝は意識しましたか。

「組手では、決勝で集中力が欠けてしまいました。完全優勝とかを考えていたわけではありません。決勝では相手の小林はすごく波に乗っていた。小林は稽古でも調子がよかったので、本来の力を発揮できたのではないのでしょうか」

形については。

「去年初めて3位に入り、自信がついたことが大きかったと思います。今年はそれよりは上に行きたいと思っていました。壮鎮は雲手などにくらべて見栄えしない形で、基本に忠実でないダメです」

今後の目標についておねがいします。

「組手で敗れてたいへんくやしかったです。くやしいう気持ちがあるうちはがんばれると思います。来年は世界大会の年でもあり、世界大会でも組手メンバーに選ばれて、全国大会、

世界大会で2種目優勝目指してがんばりたいと思います」

### ■男子個人組手優勝 小林邦雄■

準決勝の壁を破れなかった昨年までと一転、初の決勝進出での優勝でした。

「ずっと3位だったことが気になってたわけではありません。3位だったときには、準決勝で終わることによって自分に足りないものを勉強できるわけだし、負けたことをバネにして練習を毎年してきました。今回は、体調、精神とも充実しており、いい結果が出てよかったです」

決勝では完勝といえる内容でしたか。

「いつもよりも積極的に攻撃ができました。試合中は、先に1本を取ってどうとか、作戦をどうするといったことは考えませんでした。そんなことを考えずにすんだということが、精神状態がよかったということですね」

試合前は、どのような点を重視して稽古を行っていましたか。

「組手よりも、形の稽古を多くやりました。組手ばかりやっていると体がアバウトになって、突く位置とかがズレてしまう。形をやっていると、指先、足先まで神経が通い、突きの位置、立ち方が決まります」

今後の抱負についておねがいします。

「優勝は、空手の大きなことの中のほんのひとつにすぎないと思う。だから、通過点だと思っています。だから優勝したことでもやり方、考え方が変わるわけでもないが、チャンピオンだという自覚を持つてがんばりたいと思います」

### ■女子個人形優勝 藤原海代子■

昨年までの学生から、就職してずいぶん

練習環境も変わったと思います。

「高校(常葉学園菊川高校)の国語の非常勤講師になり、クラブのコーチという名目でやっていますが、自分の練習量は落ちてしまっています。このままでは来年は危ないと、危機感を持っています」

2連覇についてはいかがですか。

「自分の力を出し切るしかないと思い、精一杯やったことが、結果につながったと思います」

### ■一般団体形4連覇 青森昌空館■

●工藤貴彦(28歳)

「時間の許す限り稽古をしたことが、4連覇という結果につながったと思います。練習は週2回、2時間くらい。私生活でも節制しました」

●白鳥知見(27歳)

「私は建設会社の社員で転勤族なのですが、青森に転勤になって3人で練習する時間がとれるようになったことが大きかったと思います。これからも連覇を続けたい」

●原田礼(22歳)

「先輩方の足を引っ張らないようにがんばりました」



# 地球上のすべての都市への旅を手配いたします!

\*当社は、協会世界大会をはじめとした数々の募集ツアーを手がけております。

<当社取扱実績>

- ◆第2回松濤杯オーストラリア(ブリズベン)大会
- ◆第5回松濤杯アメリカ(フィラデルフィア)大会
- ◆第6回松濤杯大阪大会
- ◆第7回松濤杯フランス(パリ)大会

お問い合わせ・お申し込み及び資料請求は

運輸大臣登録旅行業第361号/日本旅行業協会会員

株式会社 旅行開発センター

(関連会社 日本空港サービス(株) 空手道部)

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-5 丸八銀座ビル4階

TEL03-3543-5900 FAX03-3543-5912

担当者: 菊池祐二



# 裁判、全面勝訴!

1990年より行われている登記をめぐる裁判だが、この6月、最高裁判所は浅井氏らの上告受理申立を受理せず、協会側の全面勝訴が決定した。

## ●裁判全面勝訴

謹啓  
会員各位におかれましては、益々ご隆盛の段、大慶に存じます。

題記の件、過去10年にわたり社団法人日本空手協会の正式な活動に大なる支障をきたし皆々様にはご迷惑をおかけいたしました。

この度、お陰さまを持ちまして平成11年6月10日最高裁判所の判決が下り、我々日本空手協会が全面勝訴いたしました。

今後、正式に社団法人日本空手協会の名称を使用し、王道を歩むべく一丸となって努力いたす所存であります。

今後の方向を定め、改めてやるべきことを整理し、後日報告いたします。

(社団法人日本空手協会会長／中原 伸之) 敬具

## ●御連絡

社団法人日本空手協会は平成2年以來、いわゆる中原派、浅井派の間で訴訟が裁判所に係属していましたが、この度、平成11年5月10日最高裁判所は第一審、第二審の中原派の勝訴判決を認め、浅井派の上告を受け付けない旨の決定を下しました。

これにより、浅井派が平成2年4月、5月、

6月に行なった中原派の理事の解任、その後の浅井派の理事の選任が無効であったことが公的判断により決定致しました。

浅井派の理事と称する人々が理事ではないことが確定しましたので浅井派は誰一人として社団法人日本空手協会の理事を名乗ることはできません。

しかしながら、中には、武道家としてはあるまじきことですが、社団法人日本空手協会の理事を名乗り、あたかも浅井派がまだ社団法人として存在するかのとき虚偽を申し述べ、関係者に御迷惑をお掛けする者がいるおそれがないとは言えません。

そこで、関係各位におかれましては、社団法人日本空手協会を名乗る者に対しては、必ず、中原会長以下裁判で勝訴が確定している真の社団法人日本空手協会の理事か、裁判で敗訴したにもかかわらず、社団法人日本空手協会の名を騙る旧浅井派(裁判が確定した今、社団法人日本空手協会に浅井派なるものは存在しませんので、旧浅井派と呼びます)の理事と詐称する者かを御確認の上、社団を詐称する者に欺されないようくれぐれも御注意いただきたい存じます。

(社団法人日本空手協会会長／中原伸之)

## 2000年全国大会の日程が決定

いよいよ21世紀。永年にわたり皆々様に迷惑をおかけいたしました裁判も完全勝利に決着いたしました。来年は2000年の記念すべき年で、社団法人日本空手協会として堂々とかつ襟を糺し各位のご期待に添えるよう努力する所存であります。

特に来年は世界大会が日本で開催される年でもあり、最高の大会運営、そして最高の成績を収めるべく計画を促進中であります。また世界大会、全国大会(一般)、全国大会(少年)と、3つの大きな大会を控え、例年にまして過密なスケジュールになると存じます。が、なにとぞみなさまのご協力をお願い申し上げます。

### 第43回全国空手道選手権大会

▼2000年6月3日(土)、4日(日)

▼東京体育館

### 第43回全国小学・中学空手道選手権大会

▼2000年8月12日(土)、13日(日)

▼浜松アリーナ(JR浜松駅から徒歩10分)

### 第8回松濤ワールドカップ2000年

▼2000年中に開催(東京)

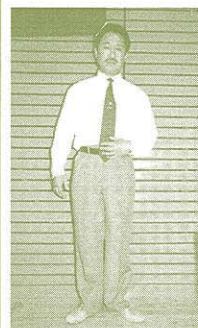
\*世界大会少年の部は、全国大会の結果および過去の実績をもつて限られた人数を選考いたします。

## 協会の型を完全網羅!

空手道型教本 絶賛発売中

- 第1巻 平安初段・弐段・参段・四段・五段、鉄騎初段 2000円(税込)
- 第2巻 抜塞(大)、観空(大)、慈恩、燕飛 3000円(税込)
- 第3巻 岩鶴、十手、半月、鉄騎弐段・参段 3000円(税込)
- 第4巻 抜塞(小)、観空(小)、壮鎮、二十四歩、雲手 3000円(税込)
- 第5巻 王冠、五十四歩(大)、五十四歩(小)、明鏡、珍手 3000円(税込)

(社)日本空手協会指定 審判用スラックス



ツータック ポリエステル100%  
ウエスト73~88cm ¥7100(税込)  
ウエスト91~110cm ¥7400(税込)

(サイズは3cm刻み、裾上げはご自身でお願いします)

送料(1~9本) ¥800  
10本以上無料



# ぼくたちわたしたち 北九州でがんばった夏休み

## 小学生・中学生第42回全国空手道選手権大会

日時●1999年7月31日～8月1日 場所●北九州市総合体育館

みんなでがんばった、1999年の夏休み！ 九州地区本部主管で行われた、小学生・中学生全国大会の模様をお伝えしよう。

### 第42回全国小・中学生空手道選手権大会を終わって

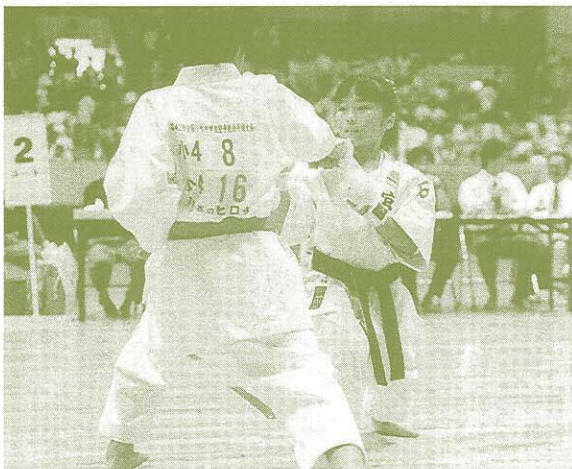
平成11年7月31日(土)・8月1日(日)、福岡県北九州市の北九州市立総合体育館に於て、社団法人日本空手協会第42回小学生・中学生全国空手道



中学3年男子組手では、井瀨智(大阪)が快勝。



中学2年女子組手決勝は、福田恵華(福岡=右)と田尻五月(千葉)の熱戦!



小学4年女子組手では、高橋しほ(宮城)が昨年に続いて2連覇。

選手権大会が開催されましたが、総本部の先生方をはじめ、全国各地道府県本部の皆様の大なる御支援御協力により、大盛會裡のうちに無事終了することができました。この大会を主管いたしました九州地区本部といたしまして、心から感謝申し上げます。さて、今回大会を九州地区本部といたしまして

総本部から開催の要請を受け、九州地区内の各支部及び団体の責任者会議を開き、全員一致で引き受けることに決定いたしました。開催日まで1年を切つていきましたが、引き受けた以上、空手道大会のモデルとなるべく、九州地区本部の田畑本部長・阪井技術局長を中心に全会員が一致団結し、この大会の成功のため全力を傾注することとなりま

## THE WORLD FAMOUS BRAND SHUREIDO

品質と信頼で長い販売実績を誇る空手衣の「守礼堂」が、真心を込めて皆様に良品質の空手衣を提供いたします。

空手用品 古武道用品 (株) 守礼堂

〒900-0012 沖縄県那覇市泊1-1-6 TEL (098)861-5621 FAX (098)861-5525  
e-mail shureido@orange.ocn.ne.jp フリーダイヤル TEL (0120)612341 FAX (0120)612342





■茨城・牛久支部（小学低学年団体組手3位）のみんな  
 新行内隼人（4年）「チームワークが大切だと思っ  
 ました。練習は  
 むちやくちやし  
 た」  
 布袋田千帆（4  
 年）「チームワ  
 クがよかったです  
 す」  
 後藤明（3年）  
 「練習はきびし  
 かったけど、みん  
 ながんばりまし  
 た」



### インタビュー

がんばったみんなに、  
 インタビューをしました。

した。毎月1回準備委員会並びに実行委員会を  
 開催し、大会の運営方法及び予算について協議いた  
 しました。この間、総本部とも常に連絡を行い、ま  
 た指導を受けながら準備を進めてまいりました。  
 各係の責任者と係員及び予算が決定し、ようやく  
 軌道に乗り始めたのは、平成11年度になつてからで  
 した。  
 当初、心配しておりました予算についても何と  
 かめどがたち、係員の確保も北九州市を中心に会  
 員の協力が得られ、準備体勢も殆ど整いました。  
 各係間の打合せ及び机上演習も何回となく繰り返  
 し、大会前日の会場準備も整い、あとは、全国か  
 ら集まってくる選手が心おきなく競技ができること



■大分県（大分南支部・大分西支部）のみんな  
 後藤愛沙（中学1年組手優勝）「練習は毎日行きま  
 した。きびしかったです。組手では、足の動きに気を  
 つけました」  
 黒川美空（小学5年組手3位）「がんばりました」  
 牟田泰子（中学1年形敢闘賞）「最初はよかったけ  
 ど、燕飛の途中で技が小さくなつてしまいました」  
 甲斐公規（小学5年形敢闘賞）「燕飛で、自分の思っ  
 たとおりに近い動きができました」  
 高橋絵里（小学4年組手敢闘賞）「よかったところは  
 わかんない」

を、願うばかりとなりました。  
 大会初日は、団体戦の形と組手が行われ順位が  
 決定しました。続いて個人戦の2回戦まで行われ、  
 18時すぎに1日目が終わりました。時間的に  
 も運営も予定通り順調に進みましたが、常に各  
 コートの試合状況を把握し、早く済みそうなコー  
 トがあれば、選手が多く残っているコートから回す  
 という進行責任者の阪井技術局長初め、進行係の  
 適切な処置がなされたためと思われれます。  
 大会2日目は開会式が行われましたが、北九州  
 市消防音楽隊の演奏のおかげで、厳粛な中にも暖  
 かくすばらしい開会式となりました。中原会長か  
 ら選手への激励のことばと、関係者の慰労のこと



小学低学年団体形は、蛇田支部（宮城）が慈恩で優勝。

ば等が述べられたのに続き、来賓祝辞、祝電披露、  
 杉浦審判長の競技上の注意、選手宣誓があり、開  
 会式が終了しました。時間的に短時間で適当で  
 あつたため、選手の子供たちがざわつくこともなく  
 引き締まった開会式となりました。開会式に続  
 き、小倉祇園太鼓の披露が行われ、大会に花を添  
 えるとともに大変好評を受けました。続いて個人  
 戦の形及び組手3回戦から決勝戦が行われ、15時  
 に閉会式となりました。閉会式における入賞者の  
 表彰は、男子形、女子形、男子組手、女子組手  
 と4区分とし、それぞれ区分毎に優勝者から敢闘  
 賞まで全員を整列させ、種目毎に二斉に賞状と賞  
 品を渡す形式を取つたため、短時間で閉会式が終  
 わり、保護者や引率者及び大会関係者から大変  
 好評をうけました。次回大会での再会を楽しみに、  
 2日間の大会が終了いたしました。  
 今回の大会運営で、最も良かったのは個人戦は  
 全て監督を試合場にいれなかつたこと、監督にID  
 カードをつけさせたことでした。監督が試合場に  
 入れれば関係のない選手も入るし、またIDカード  
 がなければ道衣もつけない、監督の腕章だけつけた

# 一流選手の一流ブランド。

日本全国どこでもお電話1本で最高の商品をお届けいたします!

## 東海堂メンバーズシップカード会員募集



### 特典のご案内

カードの年会費は初年度無料です  
 2年目より1,250円（消費税別）となります。  
 キャッシング機能が付いています。  
 三和銀行・さくら銀行等の都市銀行、全国212の提携金融機関のATM・CDにて  
 キャッシングがご利用できます。  
 東海堂商品の通信販売購入がサインレスで気軽にOK。  
 お支払い方法に便利なりボルピング払いと20回払いまでの分割払い。  
 ポイントサービスで1,000円ご利用毎に1ポイント、100ポイントで商品券進呈。  
 その他にもとっておきのプレゼントと交換OK。  
 その他JCBカードの得点いっぱい。

従来の  
 手間を  
 一切省略!

ポイントの  
 有効期間は  
 なんと  
**3年間!**

お申し込み・お問い合わせ  
 空手衣の

# 東海堂

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-12-4 麹町KYビル6F  
 TEL.03-3262-0281 (代表) FAX.03-3234-9387  
<http://www.weblink.ne.jp/tokaito/> E-mail:tokaito@mail.weblink.ne.jp





中学1年男子形で優勝の、舩田翔平(福岡)の観空大。

引率者がかなり試合場に入り、混雑し、運行にも支障をきたし、時間も長引く結果になったと思われま。礼と節を重んじる空手道にとって、日頃の成果を発揮する大会、特に小中学生の大会は、その成果を問われる大会であると思われま。その意味からも、今回の大会は、十分とは言えませんが、模範的な大会であったと思われま。これも、各団体の責任者、引率者、保護者及び関係各位の絶大なる御支援後協力の賜物であると、九州地区本部 同心から感謝いたしております。ここに重ねて、厚く御礼申し上げます。

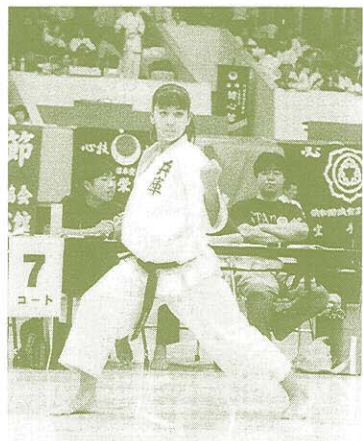
(九州地区広報担当) 鶴田 敏昭

### RESULT

#### ★団体戦・形

- ▲小学生低学年 ① 蛇田支部(宮城) ② 三重県本部(三重) ③ 福源院道場(山梨)
- ▲小学生高学年 ① 小城支部(佐賀) ② 進義館(福岡) ③ 直方北支部(福岡)
- ▲中学生 ① 東桂町支部(山梨) ② 山形原本部(山形) ③ 林原道場(岡山)
- ★団体戦・組手
- ▲小学生低学年 ① 蛇田支部(宮城) ② 名古屋中川支部(愛知) ③ 牛久支部(茨城)
- ▲小学生高学年 ① 修空館道場(宮城) ② 熊本県本部(熊本) ③ 尾鷲支部(三重)
- ▲中学生 ① 林原道場(岡山) ② 修空館道場(宮城) ③ 浜松開誠館中学校(静岡)

#### ★個人戦・形



中学1年女子形では、ウォーターハウス美希(兵庫)が観空大で優勝。

- ▲小学3年生男子 ① 宗岡大貴(福岡) ② 高山翔太(三重) ③ 松本隆弘(埼玉)
- ▲小学3年生女子 ① 大江史乃(宮城) ② 笠井奈苗(東京) ③ 川戸愛華(京都)
- ▲小学4年生男子 ① 安藤誠(京都) ② 黒野正峰(三重) ③ 古屋元成(山梨)
- ▲小学4年生女子 ① 小林実希(三重) ② 佐々木莉菜(宮城) ③ 高橋しほ(宮城)
- ▲小学5年生男子 ① 吉田将大(福岡) ② 渡邊大輔(山形) ③ 佐々木至(宮城)
- ▲小学5年生女子 ① 堀裕奈(岐阜) ② 長谷川奈々(山形) ③ 川村亜希(宮城)
- ▲小学6年生男子 ① 秋山英郎(山梨) ② 藤田久信(茨城) ③ 西澤理(福岡)
- ▲小学6年生女子 ① 安藤紗衣(岐阜) ② 佐藤まどか(北海道) ③ 富塚綾(山形)
- ▲中学1年生男子 ① 舩田翔平(福岡) ② 叙持源太(山梨) ③ 上田大介(福岡)
- ▲中学1年生女子 ① ウォーターハウス美希(兵庫) ② ウォーターハウス由耶(兵庫) ③ 清水翔子(青森)
- ▲中学2年生男子 ① 喜久田暁(福岡) ② 高木亮太(三重) ③ 太田俊介(山形)
- ▲中学2年生女子 ① 山下智子(福岡) ② 福田恵華(福岡) ③ 大場奈奈(福岡)
- ▲中学3年生男子 ① 城田國士(山梨) ② 川戸達(京都) ③ 石田修平(岡山)
- ▲中学3年生女子 ① 相澤真希(宮城) ② 花井えりか(福岡) ③ 沢田奈津樹(北海道)
- ★個人戦・組手
- ▲小学3年生男子 ① 上田竜太郎(福岡) ② 石



表彰式で、中原会長から表彰状をもらう。

- 田典嗣(静岡) ③ 小川敏生(宮城、勝又匡介(静岡)
- ▲小学3年生女子 ① 松本由真(静岡) ② 松下望(静岡) ③ 西澤リサ(福岡、高橋彩花(宮城)
- ▲小学4年生男子 ① 白石和茂(福岡) ② 齋藤良太(宮城) ③ 古屋元成(山梨、松平和真(大阪)
- ▲小学4年生女子 ① 高橋しほ(宮城) ② 田中順子(佐賀) ③ 佐藤巴香(宮城、高見千里(兵庫)
- ▲小学5年生男子 ① 山本龍太郎(大阪) ② 上村啓太(宮城) ③ 糸川秀幸(三重、滝宗之(茨城)
- ▲小学5年生女子 ① 竹腰里沙(長野) ② 小戸詞葉(福岡) ③ 佐々木静香(宮城、黒川美空(大分)
- ▲小学6年生男子 ① 遠藤真士(宮城) ② 古橋龍馬(福岡) ③ 伊藤裕哉(宮城、藤田久信(茨城)
- ▲小学6年生女子 ① 芹沢朋佳(静岡) ② 堀千歩(宮城) ③ 菊池亜衣(茨城、黒木美早(福岡)
- ▲中学1年生男子 ① 梁川誠(宮城) ② 忠鉄裕也(山形) ③ 大黒聡郎(宮城、志村龍己(山梨)
- ▲中学1年生女子 ① 後藤愛沙(大分) ② 中嶋由佳(宮城) ③ 佐々木暁子(宮城、宮本遥菜(京都)
- ▲中学2年生男子 ① 森神貴彦(岡山) ② 田地川剛佑(静岡) ③ 佐藤恵(宮城、金井孝行(埼玉)
- ▲中学2年生女子 ① 福田恵華(福岡) ② 田尻五月(千葉) ③ 武田舞子(茨城、森岡千尋(三重)
- ▲中学3年生男子 ① 井淵智(大阪) ② 森岡秀光(三重) ③ 金田恭亮(熊本、高瀬和正(宮城)
- ▲中学3年生女子 ① 山岸ひかり(富山) ② 村山和実(茨城) ③ 佐藤香苗(宮城、平田奈々(富山)

空手道に関する商品を

全国ネットでスピード配送致します。

# 空手衣の YAMAGA

株式会社 山雅

〒543-0013  
大阪市天王寺区玉造本町12-8-201号  
TEL 06-6762-4056



全国の支部の活動の様子をお伝えするコーナー。今回は、蛇田支部（宮城）と国士舘大学（東京）の登場だ!



写真左から高橋しほ、阿部翔太、佐々木梨菜の各選手。

少年全国大会を  
席巻する強豪

## 宮城県 ・ 蛇田支部

宮城県・石巻で活動する蛇田支部は、昭和56年同支部が開設され、以来毎年行なわれる全国大会にも宮城の代表として数多くの選手が出場し、団体戦・個

人戦ともに上位入賞と好成績をおさめてきました。

今回の42回大会では、小学生低学年団体戦に於て形・組手、共に優勝し完全優勝の快挙となった。振り返って、形1・2回戦とも2位に大差をつけ1位通過、順位決定戦では0・1差で優勝。組手1・2回戦は2×1も以降準決勝まで3×0、決勝戦は引き分け、延長、延長の末優勝を勝ち取った。この優勝は支部全体の良い刺激となり練習にも益々気合いが入ってきた。

今後とも全国に蛇田支部ありと言われるよう支部一丸となり、つぎにつながるよう頑張つて行きたいと思ひます。

なお、個人戦では、前年度の41回大会個人戦組手で阿部翔太、高橋しほがアベック優勝。今年度42回大会でも高橋しほが組手優勝でV2、佐々木梨菜が形準優勝を果たしております。

### Dojo Data

- 支部長 佐々木真人
- 住所 〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下前沼139 須田泰彦
- 電話 0225 (22) -6705

創部36年、伝統と  
気合で勝負!

## 東京都 ・ 国士舘大学



東京・世田谷の中心に位置する本学空手道部の歴史は、古くからの伝統ある大学の空手道部と比べれば比較的新しく、岡本秀樹を初代主将、日本空手協会を指導母体として創部されたのが昭和38年。後に駒沢大学OBの大石武士先生を師範としてお招きした。当時は創部と同時に正課体育の授業としても空手道が採用され、協会から故中山正敏先生や庄司寛先生などが指導に当たられていたという。

館が建設されるや、その地下1・2階を吹き抜けにした約100坪の専用道場を与えられた。道場には師範室はもとより更衣室に浴場、ミーティングルーム、ギャラリーなどの設備も設けられており、大学側の武道クラブに対する理解の深さがうかがえる。

社団法人日本空手協会主催による全国空手道選手権大会においては、「存じのとおり山本英雄（昭和54年度卒）が第26回大会（58年）と第27回大会（59年）で優勝、また横道正明（同57年度卒）が第30回大会（62年）で優勝を果たした。現在、山本は全空連全日本強化コーチとして、また、横道は本学空手道部女子監督として活躍しており、両OBとも本学空手道部のシンボルの存在である。

採用している。

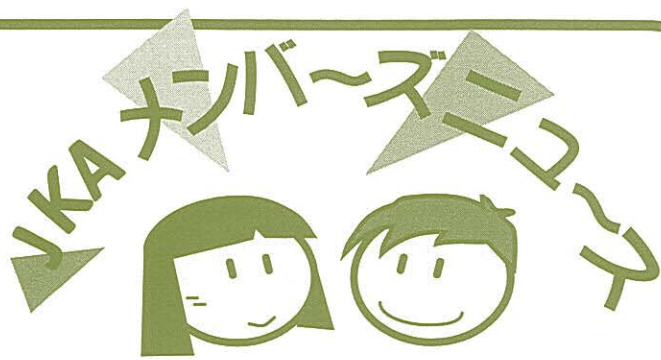
現在の部員は男子が19名、6年前から受け入れている女子が8名で、計27名。指導方針としてはあくまで「基本」と「気迫」を重視し、人よりもきつい稽古で自信や精神力を培う反面、大会で勝つための科学的トレーニングなども採用している。

本学空手道部の卒業生はあらゆるジャンルで活躍しており、中でもその多くが学校教員や道場指導員となり空手道指導に当たっている。大会で勝つことも重要であるが、それ以上に指導者として人に指導できるような人材、社会人として国や社会に貢献できる人材を、今後

### Dojo Data

- 部長 矢野博志
- 名誉師範 大石武士
- 師範 泉 賢司
- 監督 大木陽悦
- 女子監督 横道正明
- 住所 東京都世田谷区若林4-31-10柴田会館地下
- 電話 03 (3487) 1915





会員のみんなの活躍を紹介するコーナー。作文は募集していますので、みんなどしどし送ってください!

### ぼくと空手道 全国大会を終えて

小学5年生 吉田将大 まほろ

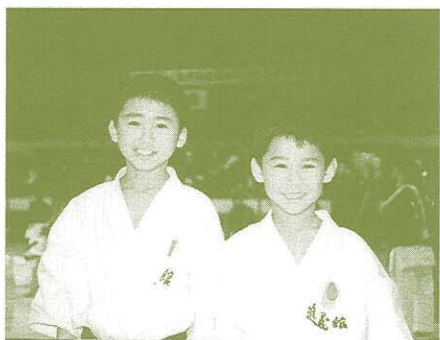
(福岡県・直方北支部進義館)

ぼくは、小学2年生の時、弟と一緒に進義館道場に入りました。

初めて道場を見学した時、ぼくが思っていた「かっこいい戦い」とはまったくちがって、先生達の大きな声と「ヒッピン、ピンピン」と動く音が心に残っています。

空手を始めた最初のころは、あまり空手が好きではありませんでした。しかし、3ヶ月たって市の大会の形で優勝し、大きなトロフィーと賞状をもらい、いま思えば初めてもらったトロフィーがとても大きな宝物となりました。それから空手を生けんめいがんばろうと思っつよつになりました。

3年生になって初めて県大会に出場し形で優勝、組手2位になりましたが、表示しつづかれるまで自分が優勝したことが分からなかったことを覚えていきます。



将大くん(左)と弟の龍太くん。

道場で兄弟で子供たちに空手道を教えること。龍太くんからもういっしょにがんばろう。

それから、お父さんとお母さんが試合のときも応援してくれてくれたと思います。

高村先生、道場のみんな、そしてお父さん、お母さんありがとうございました。これからもよろしくおねがいします。

ぼくの将来の夢は、弟の龍太と全国大会で二人そろって優勝すること。それから大人になったら進義館道場で兄弟で子供たちに空手道を教えること。

少しずつ試合に出るようになって、その年の全国大会では、予選で負けともくやししい思いをしました。そして九州大会の形で優勝。第41回の全国大会で組手2位、九州大会では、形と組手で優勝することができました。

道場の先生は、とてもきびしい先生ですが、生けんめいぼくたちに空手を教えてくれます。そして、道場にはすばらしい先輩と友達がたくさんいます。今年で3回目の全国大会です。今までくやししかったことを思いだし、いよいよ大会日になりました。選手みんなを見て、とてもうれしく強そうに見えました。

試合の前日にお父さんから試合順を書いた手紙をもらいました。その中に「自分を信じてがんばること。」と書いてありました。ぼくは大きな声を出して、自分を信じて生けんめい形をしました。

夢にまで見た金メダルとてもうれしかったです。お母さんの顔を見ると少し涙が出てきました。

ぼくが優勝できるのは、高村先生と先輩の連やいっしょにけんごをする友達、そして弟の龍太がいてくれたからだと思います。

### JKAメンバーズニュース 原稿募集

このコーナーでは、会員のみなさんの原稿を募集します。

1 作文 空手の練習の中や試合に出て考えたこと、感じたことを作文にしてください。原稿用紙(400字づつ)2枚をひらいてまてめてください。写真も1枚つけてください(写真は返せないので、大事な写真は入れないように。かならず焼き増ししてください)。

2 質問 練習のことや試合のこと、「どうしたらうよくなるのかな?」など、いっしょに質問をおよせください。総本部の先生が答えてくれます。「この先生に聞きたい」という希望があれば、聞きたい先生の名前を書いておいてください。「一般部の方もぜひどうぞ」。

● 作文、質問とも、かならず原稿用紙を使ってください。

● 名前、住所、電話番号、学年、通っている支部・道場の名前をかならずはっきりと書いてください。

### 投稿歓迎

「JKAニュース」では、全国の会員のみなさまの投稿を歓迎しています。支部・道場の行事の様など、原稿・写真をお気軽に寄ってください。

投稿原稿は800字以内。ワープロもしくは原稿用紙使用のこと。ワープロの場合、MS-DOS変換したフロッピーを添付していただくと幸いです(パソコンの場合はフロッピーに使用機種名、ソフト名を明記)。なお、投稿いただいた原稿等は原則として返却しませんので、ご注意ください。

また、ホームページ、電子メールアドレスも開設しております。ぜひご利用ください。

宛先/〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-16-2 社団法人日本空手協会総本部 「JKAニュース」係

TEL 03-3476-4611 (担当・蔵迫)

ホームページ <http://www.karatado.co.jp/jka>

電子メール [jka@red.an.egg.or.jp](mailto:jka@red.an.egg.or.jp)

<各地区編集委員>

北海道地区 網谷貞幸 TEL/FAX011-832-1182

東北地区 佐藤範明 TEL/FAX022-285-3209

関東地区 瀬戸謙介 TEL03-3714-6469 FAX03-3714-4093

北信越地区 大日方俊夫 TEL026-244-2659/026-234-5489 FAX026-244-4170

東海地区 池山正仁 TEL052-351-7300 FAX052-355-3557

近畿地区 小島弘己 TEL/FAX0720-75-0295

九州地区 鶴田敏昭 TEL092-661-0500 FAX092-661-0504

日本空手協会総本部指定

# 「尚武」

## KARATE WEAR & GOODS



(有) 尚武 ショップ 代表取締役

日本大学農獣医学部空手道部 監督 相澤尚明

〒405-0018 山梨県山梨市上神内川402-1

有限会社 尚武

TEL/FAX 0553-23-5320



# ●激戦！ 関東学生リーグ

平成11年度の関東学生会春季リーグ戦が、6月27日、国士舘大学で開催された。男子1部リーグでは駒大が、女子では大正大が優勝を果たした。

## RESULT

### ★団体戦

▲男子1部 1駒澤大  
2国士舘大学 3防衛大学校

▲男子2部 1青山学院大学 2高崎経済大学 3獨協大学

▲男子3部 1東京電機大学1部 2足利工業大学 3自治医科大学

▲女子 1大正大 2青山学院大学 3駒澤大学

▲個人戦  
★男子 1岸本将義 (青山学院大) 2飯田善紀 (大正大) 3三浦康洋 (獨協大)

★女子 1笹有紀子 (大正大) 2河村佳代 (大正大) 3佐藤愛華 (青山学院大)

★個人戦  
★男子 1岸本将義 (青山学院大) 2飯田善紀 (大正大) 3三浦康洋 (獨協大)

★女子 1笹有紀子 (大正大) 2河村佳代 (大正大) 3佐藤愛華 (青山学院大)

(青山学院大)、根本明理 (駒澤大)

☆優秀選手 古閑紀宇 (防衛大)、鈴鹿義貴 (国士舘大)、佐藤雅人 (国士舘大)、東竜也 (駒澤大)、植松孝也 (駒澤大)、河村佳代 (大正大)、織田かおり (大正大)、太田紗加 (駒澤大)、伊藤愛華 (青山学院大)

# ●「赤ひげ空手道」 湘南を征く

神奈川県大会のドクターを務める、逗子支部の森川憲輝指導員は、10代の頃、四谷にあった総本部に通い、横浜市大医学部時代も、空手部員として、週6日、稽古に励んでいた。

「医学生で毎日稽古では大変だったんじゃないですか」と聞かれると、「だから、あんまり良い医者にならなかったんです」と真顔で答えるエモアのセンスの持ち主でもある。

しかし、開業している茅ヶ崎市近辺では、整形外科医として「名医」の呼び声が高い。

そして、謙虚で腰の低い人柄と、長身・ハンサム・ロマングレーの長髪のため、女性患者にも人気があると聞く。

又、全国ランキング上位の警察大のオーナーであり、ゴルフスキー・カラオケ等もかなりの腕前である。

7月18日、総本部より田中昌彦師範を招いて、県本部講習会に続いてあった昇段審査会において、森川指導員は3段を受審した。

50歳の彼にしてみれば、30年ぶりの審査である。

学部を出て医師になってからの修業時代に続き、医博となり、手術・当直・休日出勤・緊急呼び出しや、看護学校での講義等もあった病院勤務時代も長く、空手の実力はありながら、ことごとく昇段の機会を逸してきた。

その空白を取り戻すかのような気魄で臨んだ昇段審査会——。

長髪を振り乱しての抜塞大の演武、技の迫力が場内を圧倒した。

又、組手においても、気鋭の若手実力者3人と連続して対戦し、二歩も退かず、黒沢映画「赤ひげ」の三船敏郎演ずる反骨医者を彷彿とさせ、長身より豪快な技を繰り出し、何度も対戦者と共に床に倒れ込む激闘の末、見事、3段取得を果たした。

立派に生涯武道を貫き、全力を尽くし、汗にまみれた姿は、後に続く若い者達に、それぞれの人生に打ち克つて行くための、勇気と無言の励ましを与えてくれるかの様であった。

(神奈川県編集委員/本多正昭)

# ●秋田県大曲市にて東北地大会開催

第28回東北地区空手道選手権大会が、花火大会で全国に知られた秋田県大曲市にて7月4日(日)に開催された。

今大会には、総本部から田中昌彦師範をお招きして、「史跡といで湯の町・仙北町」のスローガンを掲げている仙北町の町民体育館を会場として、東北6県から選抜された延べ520名の選手が熱戦をくりひろげた。

大会の運営は実行委員長の西島羽順一郎(仙北支部長)氏を中心に、小西省吾の仙北町長、御法川英文仙北支部会長の協力のもとに、大会会場前には地元特産品の出店が出るなど町、支部挙げての運営となった。

試合では、試合場への入場の仕方や演武線での立方等細かい指導などもなされ、緊張の中にも地区大会ならではの雰囲気があった。

選手の力は6県ともほぼ互角であり、レベルは年々上がってきているように思えた。

特筆すべくは、一般大学男子形で外国人のジョシユウ選手(岩手県)が岩場で見事優勝したことである。

(東北地区事務局)

## ★組手

小学3年生男子 大井崇司 (宮城)

小学4年生男子 阿部翔太 (宮城)

小学5年生男子 佐藤駿 (宮城)

小学6年生男子 遠藤真士 (宮城)

中学1年生男子 野口真央 (宮城)

中学2年生男子 大田俊介 (山形)

中学3年生男子 鷲橋明光 (宮城)

高校生男子 作間宏典 (宮城)

一般・大学男子 三浦大輔 (宮城)

小学3年生女子 高橋彩花 (宮城)

小学4年生女子 高橋しほ (宮城)

小学5年生女子 佐々木静香 (宮城)

小学6年生女子 小川菜唯 (秋田)

中学1年生女子 斎藤礼子 (山形)

中学2年生女子 加藤夕貴 (宮城)

中学3年生女子 佐藤由香 (宮城)

高校生女子 計良佳美 (宮城)

一般・大学女子 渡木亜希 (宮城)

一般団体 宮城県

# ●東海大会 岐阜で熱戦！

第42回東海地区空手道選手権大会が、6月27日、岐阜メモリアルセンターにて開催された。結果は以下の通り。

## (優勝者のみ)

▲小学低学年・形 奥村貢 (愛知)

▲小学低学年・組手 永井健太 (静岡)

▲小学3年生男子・形 高山翔太 (三重)

▲小学3年生男子・組手 西辰樹 (三重)

▲小学3年生女子・形 松本由真 (静岡)

▲小学3年生女子・組手 松本由真 (静岡)

▲小学4年生男子・形 伊藤陣 (三重)

▲小学4年生男子・組手 伊藤陣 (三重)

▲小学4年生女子・形 南部仁美 (岐阜)

▲小学4年生女子・組手 加藤直美 (静岡)

▲小学5年生男子・形 坪井嵩文 (静岡)

▲小学5年生男子・組手 西祐太 (三重)

▲小学5年生女子・形 堀裕奈 (岐阜)

▲小学5年生女子・組手 長田静佳 (静岡)

▲小学6年生男子・形 伊藤翔太 (三重)

▲小学6年生男子・組手 内山修作 (三重)



- ▲小学6年女子・形 栗木美穂(岐阜)
- ▲小学6年女子・組手 芹沢朋佳(静岡)
- ▲中学1年男子・形 辻村草太(静岡)
- ▲中学1年男子・組手 清水克彦(静岡)
- ▲中学1年女子・形 久野史織(静岡)
- ▲中学1年女子・組手 久野史織(静岡)
- ▲中学2年男子・形 高本亮太(三重)
- ▲中学2年男子・組手 片桐二樹(静岡)
- ▲中学2年女子・形 勝又三映子(静岡)
- ▲中学2年女子・組手 正井悠翔(三重)
- ▲中学3年男子・形 甲斐田匡彦(愛知)
- ▲中学3年男子・組手 森岡秀光(三重)
- ▲中学3年女子・形 小林奈津子(三重)
- ▲中学3年女子・組手 本日裕美(静岡)
- ▲高校生男子・形 鈴木啓允(静岡)
- ▲高校生男子・組手 中島教夫(岐阜)
- ▲高校生女子・形 須藤小智(三重)
- ▲高校生女子・組手 須藤小智(三重)
- ▲一般男子・形 今壮士(岐阜)
- ▲一般男子・組手 浦上修一(静岡)
- ▲一般女子・形 田村亮子(岐阜)
- ▲一般女子・組手 桜木晶子(静岡)

### ●岐阜県本部創立30周年を祝う

去る6月26日、岐阜県本部創立30周年記念式典と祝賀会が、岐阜城の麓に位置し、清流長良川畔に建つ岐阜観光ホテル十八楼で開催された。総本部から中原会長、杉浦首席師範、植木専務理事、蔵迫広報部長をお招きし、東海地区の各県本部長を始め支部長、岐阜県連役員、各界代表者等200名の出席をいただき、盛大に行われた。

まずは県本部長の野田安彦が30年の経緯と感謝の言葉を述べ、続いて中原会長から社団法人日本空手協会の歴史、現在の状況、将来の展望、指導方針等のお話があり皆熱心に聞き入っていた。このあと、この30年、特に紛争後の苦しかった10年間に岐阜県本部の運営に多大な貢献をされた4名の皆さんに中原会長から記念功労者賞が贈られた。

続いて植木専務理事の乾杯の音頭で、パーティーが始まった。この日の約2週間前に最高裁判決のビッグニュースが伝わったこともあって会場内は祝賀ムード一色に包まれ、終始賑やかな談笑が各テーブルから

あがっていた。最後に中原会長、杉浦首席師範を囲んでの記念撮影があり、全員で社団法人日本空手協会の更なる発展と空手道の精進に心新たに取り組む決意を誓い散会した。

又翌日の27日には、杉浦首席師範、蔵迫広報部長ご列席のもと、第42回東海地区選手権大会が岐阜メモリアルセンターで開催され熱戦が繰り広げられた。(岐阜県編集委員/辻正頼)

### ●福岡で少年部講習会開催される

平成11年6月27日(日)、福岡県直方市の直方市民体育館に於て、平成11年度福岡県少年部の講習会が開催されました。

この講習会は、毎年この時期に福岡県本部所属の指導者により、全国小学生・中学生大会に出場する県代表選手の強化練習と、各団体少年部の上級者の技術向上及び形の統を目的に開催されております。さらに少年部から一般部への段位切替審査も併せて実施されます。本年度は指導者50名、少年部の参加者183名、一般部への段位切替受審者28名の参加がありました。

講習会は、午前10時に始まりましたが、阪井本部長及び橋口技術局長による要点の解説と指導が行われた後、小学低学年から中学3年までそれぞれ学年別に別れ、各学年毎に指導者のチーフ及び指導者6名がついて、形と組手の指導に当りました。基本的なことは、総本部の形教本及び組手指導の基本に忠実に行われますが、その方法は各学年別指導者にかかれておりますので、各グループの指導者としては、創意工夫をしていかに子供たちに理解させ、修得させるのが大切な要素となるため、指導者たちも子供たちも暑さを忘れ、汗びしょりになりながらの講習会でした。昼食をはさんで、午後の講習会が続けられました。一般部への段位審査も並行して行われました。本来は、午後4時頃まで行われますが、今回は全国小学生・中学生大会の実行委員会が、この会場で行われるため、午後2時に終了いたしました。

この講習会は、保護者にも指導者にも大変好評であり、初めて参加した保護者からは来年も是非参加したい、他の保護者にも子供たちと一緒に参加するように誘いたいと言われるようになりました。この講習会を主催する福岡県本部としては、参加した子供

たち及び保護者に感謝されることは、なによりも励みになり、来年度はさらに充実した講習会にしたいと決意も新たにいたしました次第です。(福岡県本部広報担当/鶴田敏昭)

### ●駒澤大学の祝賀会

6月の全国大会でOBの小林指導員が組手で優勝、泉屋指導員が形準優勝、そして大学団体戦では形・組手の完全優勝を成し遂げた駒澤大学。7月17日、渋谷の東急文化会館にて、祝賀会が開催された。当日は多数の関係者が集い、駒大勢の活躍を祝った。



### ●昇段審査合格者(3段以上)

- 3段 大石勝美(千葉)、石井隆好(千葉)、水瀬知広(福岡)、梶原邦昭(福岡)、野田留美子(福岡)、畔元慶明(福岡)、坂本良次(福岡)、松尾圭梧(福岡)、本川健四郎(福岡)、野崎淳(長野)、三枝利三(長野)、堀内健郎(長野)、北原男(長野)、玉木秀明(長野)、竹内陽子(長野)、武居可奈(長野)、日沖喜広(三重)、山口貴之(三重)、西村健(宮城)、佐藤由香里(本部)、LOKUKALUGE NANDASIRI(スリランカ)、在田憲史(兵庫)、西田博史(兵庫)、柴野雅宏(埼玉)、竹澤英知(埼玉)、山下和宏(埼玉)、伊原妙子(福井)、LOKUKALUGE SUNIL SHANTAA(大阪)、森川憲輝(神奈川)、根本武千代(千葉)
- 4段 中田輝美(福岡)、田中浩香(福岡)、加藤康弘(静岡)、吉田賢司(静岡)、丸山悟(茨城)、浅井嘉彦(本部)
- 5段 GUERL ERWIN(ドイツ)、須江宏信(宮城)、KING REMINGTON AIDEN GERARD(バルバドス)、SKEETHE NEIL(バルバドス)、DACOSTA KEITH RAYMOND(カナ

### ●平成11年新支部団体設置状況

- 2月 宇美道場(福岡・橋口忍)、宗拳会(福岡・山下博幸)、鏡石支部(福岡・吉田賢司)
- 3月 千葉仁戸名支部(千葉・正木博)
- 4月 鶴岡中央支部(山形・富樫弘行)、駿空会(静岡・楠林正将)
- 5月 黒川高等学校(宮城・牛坂洋之)、安曇平支部(長野・笠原哲雄)、南安曇支部(長野・百瀬敏昭)、甲府南西支部(山梨・芹澤富雄)、鶴見南支部(大阪・上田雅壽)
- 6月 瑞江支部(東京・植井孝幸)、北総支部(千葉・小山孝二)、細江支部(静岡・加藤康弘)、国際千葉支部(千葉・金木武夫)、松原支部(福井・山下巧)、札幌南支部(北海道・高橋史、旭川南支部(北海道・政二仁美)、旭川西支部(北海道・千葉啓)
- 7月 諏訪支部(長野・堀田美、砥部支部(愛媛・平井正徳)、佐世保南支部(長崎・橋口正)、徳島中央支部(徳島・栗飯原逸男)
- 8月 明德義塾高等学校(高知・吉田圭)

### ●1999 行事予定

- 10月22、24日 臨時全国合宿(大分県別府市)
- 10月31日 定期昇級審査会(総本部)
- 12月5日 定期昇級昇段審査会(総本部)
- 12月22日 総本部稽古納め・忘年会
- 12月23日~1月8日 総本部冬期休暇
- 1月9日 鏡開き

次号(2000年新年号)は、2000年1月発行の予定です。